



膀胱鏡検査を
受けられる患者さんへの説明文書

東京女子医科大学 泌尿器科

説明書

検査の名称	膀胱鏡検査
-------	-------

説明項目

1. 診断名（病気の名前と進行度）

- 膀胱腫瘍や膀胱結石、膀胱憩室、間質性膀胱炎、前立腺肥大症、尿道狭窄、その他（ ）などが疑われます。

2. 病気の説明（どこに、なにがおきてどうなっているのか）

- 膀胱内もしくは尿道に異常所見が疑われる状態。

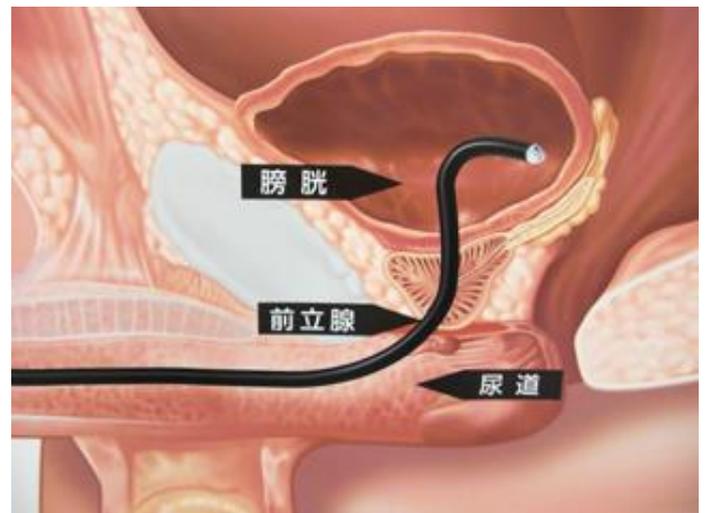
- （ ）： _____

3. 目的および必要性（なぜこの方法が提案されたのか）

- 上記の病態を含め、血尿、慢性または繰り返す尿路感染症、尿失禁、排尿障害などの原因を精査するために施行します。

4. 方法（なにをどうするのか）

- 検査は外来で施行します。
- 両足を開脚する姿勢（碎石位）になります。所要時間は15分～20分程度です。
- 局所麻酔として、尿道に麻酔成分入りのゼリー（キシロカインゼリー）を注入します。
- 尿道に軟性膀胱鏡を挿入し、膀胱内および前立腺、尿道を観察します。血尿が強い時などは、必要時に応じて硬性膀胱鏡を使用します。
- また膀胱腫瘍が疑わしい場合には、必要に応じて組織をつまんで採取する生検を施行することがあります。



5. 受けた場合の予想される経過（期待されること）

- 検査結果は、外来にて主治医からご説明します。
- 生検施行時には、結果が出るまで通常1～2週間かかります。

6. 危険性および起こりうる合併症について（心配されることや副作用）

検査は安全に行われますが、下記のような合併症がおきることがあります。

- 疼痛・違和感：膀胱鏡挿入やキシロカインゼリー注入時に伴うことがあります。
- 感染：滅菌された器具を用いますが、検査後膀胱炎のような症状がでたり、腎盂腎炎・前立腺炎などを起こし熱が出る場合があります。
- 血尿：膀胱鏡やキシロカインゼリー注入により、尿道がこすれたりして一時的に血尿がでることがあります。
- 麻酔薬自体の副作用：まれにキシロカインゼリーへのアレルギー反応が生じることがあります。

7. 合併症発生時の対処について（費用負担もふくめて）

- 合併症改善へ迅速に対応します。
- 感染：必要に応じて、短期間抗生剤を内服していただくことがあります。また、十分な水分補給を行って下さい。発熱した場合は点滴の抗生剤を使用することがあります。
- 血尿・疼痛・違和感：通常は自然に治りますので、経過観察が基本となります。
- 麻酔薬のアレルギー：症状をみて、抗アレルギー薬の投与など対処を行います。
- なお、合併症が発生した場合も、一般的には医療保険で対応いたします。

8. 受けない場合の予測される経過、代替手段（他の治療法）

- 膀胱や尿道の観察・評価には CT 検査や超音波検査では不十分であり、膀胱鏡検査が推奨されます。

9. 説明内容の理解と自由意思による同意承諾およびその取り消しについて

- いったん同意をされた場合でも、いつでも撤回することができます。やめる場合は、その旨を担当者へ連絡してください。
- この処置に同意されるかどうかは、患者様の意思が尊重されます。同意されない場合でも、不利益を受けることはありません。

膀胱鏡検査を受けられる患者さんへの説明文書
東京女子医科大学泌尿器科学教室
Department of urology, Tokyo women's Medical University.

以上の点について説明を受け、よく理解し、検査に同意します。

年 月 日 患者氏名：

患者家族氏名：

1)

2)

3)

その他、特に説明した内容

a)

b)

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明日： 年 月 日 施行予定日： 年 月 日

診療科名：

説明医師：